平均給与487万円の中身　確かめシート（令和7年分）

社畜眼鏡｜YouTube「【令和7年分】平均給与487万円の中身」の数字のまとめと、自分の区分の数字を書き込むページ

このシートは、国税庁「民間給与実態統計調査 調査結果報告」令和7年分（令和8年9月公表）の数字を、2026年10月29日に確かめてまとめたものです。数字はすべて平均で、中央値ではありません。人によって大きく違います。

---

1. この数字は誰の、何の平均か

- 対象：令和7年12月31日現在の、源泉徴収義務者である民間の事業所に勤める給与所得者。官公庁の職員は含みません
- 「1年を通じて勤務した給与所得者」：令和7年1月から12月まで引き続き勤務し、給与の支給を受けた月数が12か月の人
- 給与：1年間の支給総額（給料・手当・賞与の合計）で、給与所得控除前の金額です。**手取りではありません**。通勤手当などの非課税分は含みません
- 標本調査です：標本事業所27,420所のうち回答20,771所、回答事業所の標本給与所得者は306,242人
- 複数の事業所から給与を受けた人は、事業所ごとに数えられます。他の税務統計の数字とは一致しません

1年を通じて勤務した給与所得者	人数	平均給与
男女計	5,163万人	487万円
男性	2,934万人	597万円
女性	2,229万人	342万円

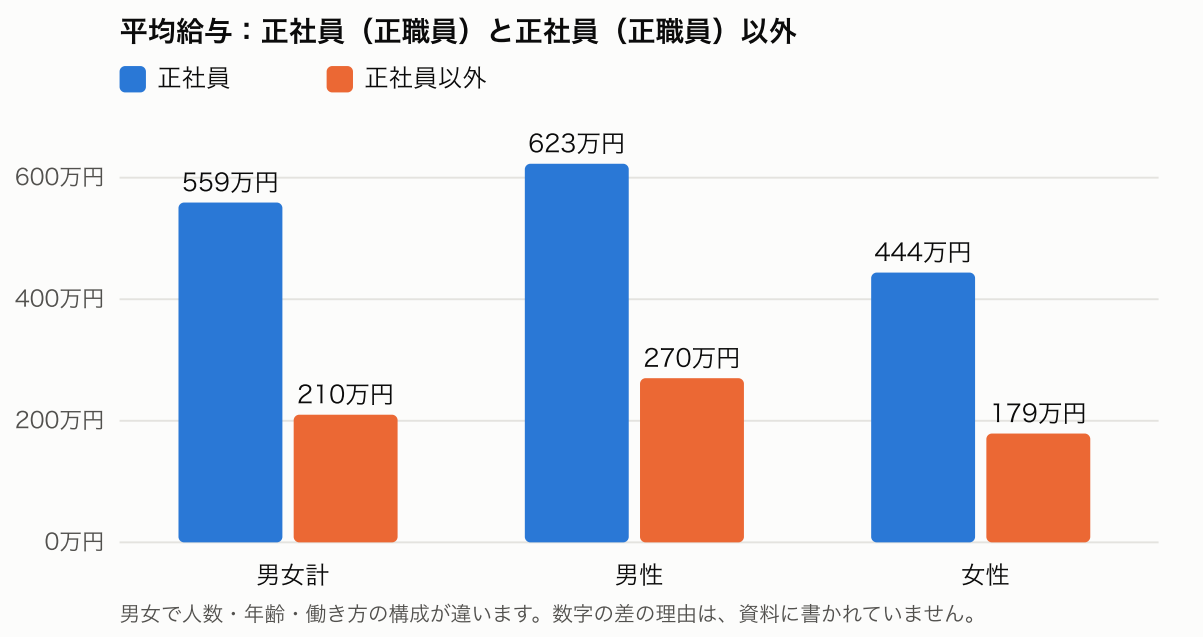
男性と女性の平均給与の差は、597万円−342万円＝255万円です（計算値）。前年と比べると、男女計1.9%増・男性1.7%増・女性2.6%増です。

2. 正社員（正職員）と正社員（正職員）以外

平均給与	正社員（正職員）	正社員（正職員）以外
男女計	559万円	210万円
男性	623万円	270万円
女性	444万円	179万円

人数	正社員（正職員）	正社員（正職員）以外
男女計	3,422万人	1,305万人
男性	2,202万人	438万人
女性	1,221万人	867万人

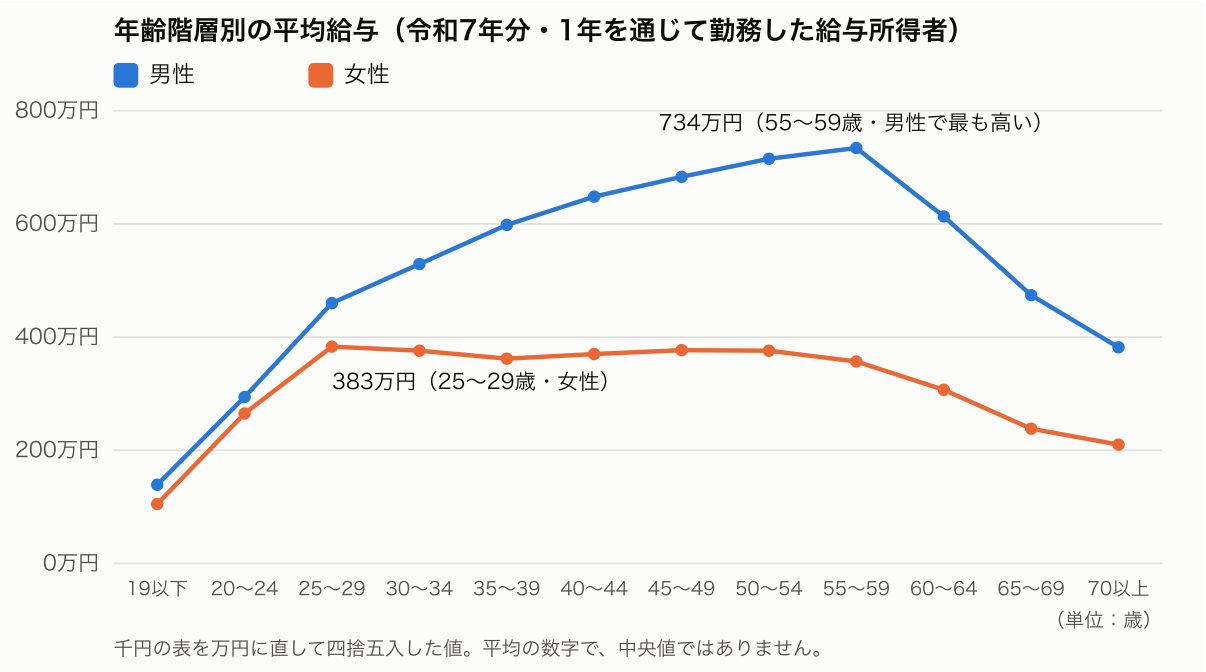
人数の合計は、役員等が含まれるため、全体の5,163万人とは一致しません（資料の注）。



3. 年齢階層別の平均給与

年齢階層	男性	女性
19歳以下	139万円	105万円
20～24歳	294万円	265万円
25～29歳	460万円	383万円
30～34歳	529万円	376万円
35～39歳	598万円	362万円
40～44歳	648万円	370万円
45～49歳	683万円	377万円
50～54歳	715万円	376万円
55～59歳	734万円	357万円
60～64歳	613万円	307万円
65～69歳	474万円	238万円
70歳以上	382万円	210万円

資料の千円の表を、万円に直して四捨五入した値です。資料は「男性では60歳未満までは年齢が高くなるにしたがい平均給与も高くなり、55～59歳の階層（734万円）が最も高い。女性では年齢による較差はあまり顕著ではない」と書いています。



男女の差の計算（3つの階層だけ抜き出し）：千円の表で引き算した値です。

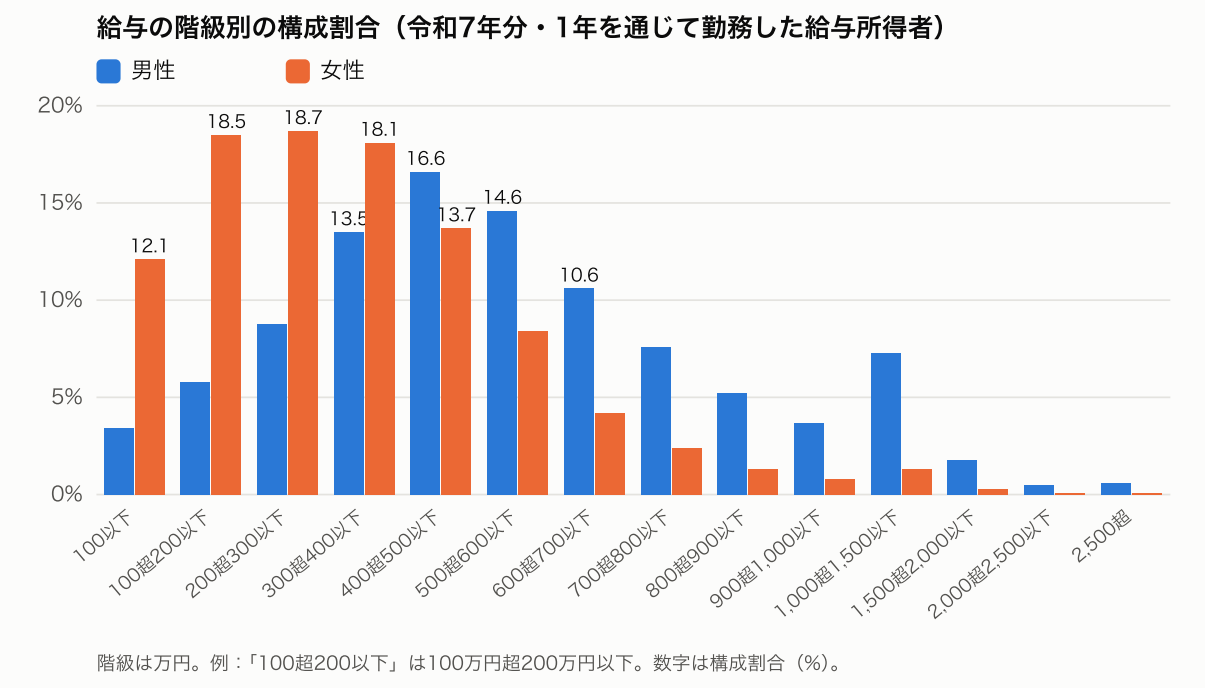
年齢階層	男性−女性（千円の表）	差（万円に直した値）
25～29歳	4,596千円−3,827千円	約77万円
40～44歳	（同じ引き算）	約278万円
55～59歳	（同じ引き算）	約377万円

この3つの階層では、年齢階層が上がるにつれて差は大きくなっています。ほかの階層の差は計算していません。理由は、資料には書かれていません。

4. 給与の階級別の分布

- 男性でいちばん多い階級：400万円超500万円以下（487万人・16.6%）
- 女性でいちばん多い階級：200万円超300万円以下（417万人・18.7%）。次は100万円超200万円以下（413万人・18.5%）
- 全体でいちばん多い階級：300万円超400万円以下（799万人・15.5%）

階級の割合を足し合わせた計算	男性	女性
300万円以下（3つの階級の合計）	18.0%	49.3%
1,000万円を超える階級の合計	10.2%	1.8%



階級は万円。例：「100超200以下」は100万円超200万円以下。数字は構成割合（%）。

5. 平均給与の内訳と、事業所の規模別

平均（1年を通じて勤務した給与所得者）	男女計	男性	女性
平均給料・手当	412万円	501万円	295万円
平均賞与	75万円	96万円	47万円
平均給与（足した額）	487万円	597万円	342万円
平均給料・手当に対する平均賞与の割合	18.2%	19.2%	15.9%

事業所の規模（従事員の数）別の平均給与	男女計	男性	女性
10人未満	398万円	490万円	287万円
5,000人以上	548万円	710万円	341万円

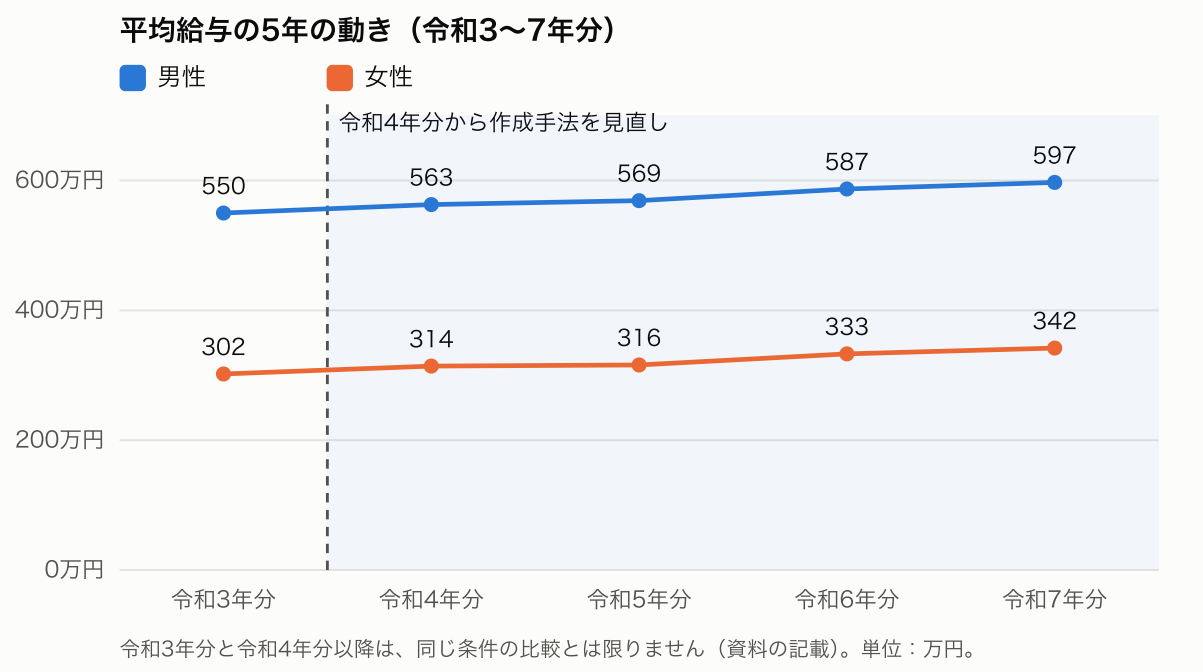
規模が違う事業所の平均の数字を並べただけで、理由は資料にありません。

6. 平均給与の5年の動き

令和〇年分	3	4	5	6	7
男性（万円）	550	563	569	587	597
女性（万円）	302	314	316	333	342

男女計は、令和3年分の446万円から令和7年分の487万円です。令和7年分は、前年から1.9%・金額で9.1万円の増加です。

資料には、令和4年分から統計の作成手法を見直したと書かれています（税務データを活用した欠測値補完など）。令和3年分と令和4年分以降は、同じ条件の比較とは限りません。



令和3年分と令和4年分以降は、同じ条件の比較とは限りません（資料の記載）。単位：万円。

7. 自分の数字を書き込むページ

数字はどれも概算でかまいません。平均は目標の金額ではありません。この表だけで、給与の良し悪しや、適正な額は決まりません。

見る項目	自分（わが家）の数字
年齢階層（例：45～49歳）	
男性・女性（資料の区分）	
働き方（正社員（正職員） / 正社員（正職員）以外）	
3の表の、自分の年齢階層・男女の平均給与（年齢階層別の集計）	万円
2の表の、自分の働き方・男女の平均給与（働き方別の集計）	万円
自分の1年間の支給総額（給料・手当・賞与の合計・額面）	万円
メモ（気づいたこと）	

※3の表と2の表は別々の集計です。「年齢階層×男女×働き方」を組み合わせた平均は、この資料のこの表には出していません。 ※額面は、手取りではありません。表の数字は、平均の数字です。人によって大きく違います。年齢・男女・働き方で人数の構成が違います。 ※表は、1年を通じて勤務した給与所得者の平均です。1年未満の勤務の人は別の集計です。

出典（2026年10月29日に確認）

- 国税庁「民間給与実態統計調査 調査結果報告」令和7年分（令和8年9月）
  https://www.nta.go.jp/publication/statistics/kokuzeicho/minkan2025/minkan.htm

社畜眼鏡　PDF資料室・ブログ https://syatiku-me.com/

この回の動画は、公開後にPDF資料室のページから見られます。